

V 推進体制

ビジョン基本目標の実現に向け、各機関・団体が課題意識を共有の上、官民が一体となって、リーディングプログラム（概ね3ヶ年程度）など各種取組を進めていきます。

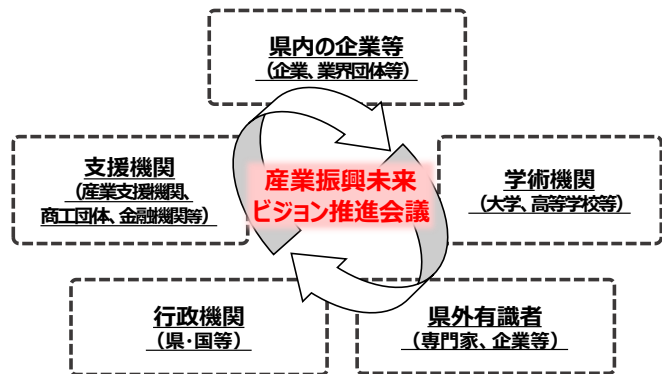
その際、有識者や関係団体などの参画を得た推進体制を構築し、再生・発展ダッシュボードやKPI、プログラム推進状況など点検・評価を行いながら、ビジョンPDCAサイクルを回していくこととします。

なお、推進状況や社会経済情勢の変化に応じ、臨機かつ迅速にビジョン・施策の見直し・追加発動を行いながら、ビジョン目標達成を全力で目指してまいります。

(1) ビジョン推進体制

○ ビジョン進捗状況の点検・評価を行うとともに、必要な見直しなど議論を行う場として、産業振興未来ビジョン推進会議（以下「ビジョン会議」という。）を設置し、定期的を開催する。

○ ビジョン会議の構成メンバーは、企業・業界団体や商工団体・金融機関等の支援機関、大学をはじめとした学術機関、行政機関に加え、客観的視点や専門的知見に基づいた助言を得るため、必要に応じて県内外の専門家や企業なども参画する。



(2) PDCAサイクルの構築

- ダッシュボードを用い、基本目標の実現状況を迅速・的確に把握する。
- リーディングプログラムに掲げた各種取組の進捗状況について、各KPIを点検・評価しながら把握する。
- 上記により明らかになった課題などに対応するため、必要となる対策を明確化し、必要な施策構築・推進に反映する。

(3) 情勢変化等への機動的な対応

- リーディングプログラムは、基本目標の実現に向け、概ね3年ごとにビジョン会議での議論を踏まえながら見直しを行う。
- このほか、社会経済情勢の変化によって抜本的な見直しが必要となった場合などにおいては、上記に依ることなく機動的にビジョン改訂を行うとともに、必要となる施策の見直し・追加を行っていく。